

CASBEE[®] - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)セイキ工業株式会社 所沢倉庫新築工事	階数	地上2F
建設地	埼玉県所沢市大字下富字森ノ原1346番、1347番	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、法22条区域	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	倉庫業を営まない倉庫	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年5月 予定	評価の実施日	2022年8月4日
敷地面積	5,419 m ²	作成者	エネ・グリーン 臼井千尋
建築面積	2,630 m ²	確認日	2022年8月4日
延床面積	2,693 m ²	確認者	エネ・グリーン 定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★ ☆☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆ 100% ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q のスコア = 2.5		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.5 音環境: 3.0, 温熱環境: 1.8, 光・視環境: 2.7, 空気質環境: 3.1	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9 機能性: 2.6, 耐用性: 2.9, 対応性: 3.4	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1 生物環境: 1.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.0
LR 環境負荷低減性		
LR のスコア = 3.7		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2 建物外皮: 5.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 5.0, 効率的: 2.0	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2 水資源: 3.4, 非再生材料の: 3.3, 汚染物質: 3.0	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5 地球温暖化: 4.0, 地域環境: 3.5, 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 BPI _m =0.67, BEI _m =0.51 ライフサイクルCO ₂ 排出量を74%に抑制し、ヒートアイランド対策に配慮した。		特になし。
Q1 室内環境 喫煙対策を考慮し排気扇を設置した喫煙室を設け、室内の空気質環境に配慮した。	Q2 サービス性能 執務スペースに対してゆとりのある休憩室を設け、快適性に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 可能な限り緑地を計画し、敷地内の温熱環境の向上に努めた。
LR1 エネルギー BPI _m =0.67, BEI _m =0.51	LR2 資源・マテリアル 節水型水栓及び省水型便器を採用し、水資源の保護に配慮した。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量を74%に抑制し、ヒートアイランド対策に配慮した。 ガス燃焼設備の使用なし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)セイキ工業株式会社 所沢倉庫新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.5
Q1 室内環境							0.31			2.5
1 音環境						3.0	0.15			3.0
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40			
1.2 遮音						3.0	0.40			
1 開口部遮音性能						3.0	0.60			
2 界壁遮音性能						3.0	0.40			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)										
4 界床遮音性能(重量衝撃源)										
1.3 吸音						3.0	0.20			
2 温熱環境						1.8	0.35			1.8
2.1 室温制御						2.7	0.50			
1 室温						3.0	0.38			
2 外皮性能						2.0	0.25			
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38			
2.2 湿度制御						1.0	0.20			
2.3 空調方式						1.0	0.30			
3 光・視環境						2.7	0.25			2.7
3.1 昼光利用						4.0	0.30			
1 昼光率		事務室: 昼光率2.15%				4.0	0.60			
2 方位別開口										
3 昼光利用設備		事務室: ハイサイドライト設置				4.0	0.40			
3.2 グレア対策						1.0	0.30			
1 昼光制御						1.0	1.00			
3.3 照度						3.0	0.15			
3.4 照明制御						3.0	0.25			
4 空気質環境						3.1	0.25			3.1
4.1 発生源対策						3.0	0.50			
1 化学汚染物質						3.0	1.00			
4.2 換気						3.3	0.30			
1 換気量						3.0	0.33			
2 自然換気性能		事務所用途: 自然換気有効開口面積は床面積の1/30以上				4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33			
4.3 運用管理						3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50			
2 喫煙の制御						3.0	0.50			
Q2 サービス性能							0.30			2.9
1 機能性						2.6	0.40			2.6
1.1 機能性・使いやすさ						2.3	0.40			
1 広さ・収納性						1.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.33			
3 バリアフリー計画						3.0	0.33			
1.2 心理性・快適性						2.6	0.30			
1 広さ感・景観						3.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		事務所用途: 事務室の1%以上の休憩室				4.0	0.33			
3 内装計画						1.0	0.33			
1.3 維持管理						3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性						2.9	0.30			2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						2.9	0.30			
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						2.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管,給湯管,汚水排水管の2種以上にB以上使用,E不使用				5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔						2.0	0.20			
2.4 信頼性						2.8	0.20			
1 空調・換気設備						3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20			
5 通信・情報設備						2.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.4	0.30				3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30				
1 階高のゆとり		事務所用途:3.4m,工場用途:5.53m 面積按分後レベル5 基準階 壁長さ比率0.11	5.0	0.60				
2 空間の形状・自由さ			4.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30				
3.3 設備の更新性			3.0	0.40				
1 空調配管の更新性			3.0	0.20				
2 給排水管の更新性			3.0	0.20				
3 電気配線の更新性			3.0	0.10				
4 通信配線の更新性			3.0	0.10				
5 設備機器の更新性			3.0	0.20				
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20				
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39				2.1
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30				1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30				2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50				
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-				3.7
LR1 エネルギー			-	0.40				4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.67	5.0	0.20				5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10				3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.51	5.0	0.50				5.0
4 効率的運用			2.0	0.20				2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00				
4.1 モニタリング			3.0	0.50				
4.2 運用管理体制			1.0	0.50				
集合住宅の評価			-	-				
4.1 モニタリング			-	-				
4.2 運用管理体制			-	-				
LR2 資源・マテリアル			-	0.30				3.2
1 水資源保護			3.4	0.20				3.4
1.1 節水		過半に節水型水栓及び省水型便器を採用	4.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60				
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70				
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30				
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60				3.3
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11				
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		石膏ボード:ソーラトン	3.0	0.22				
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+内装材と設備が容易に分別可能な構造.OA707	5.0	0.22				
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20				3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30				
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70				
1 消火剤			-	-				
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50				
3 冷媒			3.0	0.50				
LR3 敷地外環境			-	0.30				3.5
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出量を74%に抑制	4.0	0.33				4.0
2 地域環境への配慮			3.5	0.33				3.5
2.1 大気汚染防止		ガス燃焼設備の使用なし	5.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25				
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25				
3 交通負荷抑制			3.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25				
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33				3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40				
1 騒音			3.0	1.00				
2 振動			-	-				
3 悪臭			-	-				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40				
1 風害の抑制			3.0	0.70				
2 砂塵の抑制			3.0	-				
3 日照障害の抑制			3.0	0.30				
3.3 光害の抑制			3.0	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70				
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30				

CASBEE埼玉県

重点項目シート



■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)セイキ工業株式会社 所沢BEE	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	---------------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
4.0	+	2.0	=	6.0	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上		すばらしい 8.0以上	
					

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.0
ライフサイクルCO2排出量を74%に抑制し、ヒートアイランド対策に配慮した。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
可能な限り緑地を計画し、敷地内の温熱環境の向上に努めた。			

:入力欄